

川柳マガジンクラブ東京句会9月9日

「流れる」という課題で互選を試みました。

紙に書いてコピーする手間と時間を短縮しようと、全句読み上げて皆さんに書き写してもらったことにしました。ところが、思ったより手間が掛かってしまいました。

参加者それぞれ 持ち点三を集句に振り分けてもらいました。一句に一点でなくともよいという方法をとりましたが、三点じゃ少ないという意見も。

今後の反省と研究の余地を残した形となりました。

互選「流れる」結果

6点句

あいまいに流れた語尾にある本音 耕平
ラジオから流れる歌で過去が来る 宣子
銀座にも渋谷にもあるママの過去 帆波

5点句

時間だけ流れ二人の無言劇 ゆづ子
灯籠が流れる父と母の河 ゆづ子

4点句

流行を追って都会のカメレオン 利江

2点句

病葉が川の流れを重くする 団扇
上流にいと下流が分らない 倫也
字余りの歌がうるさいアーケード 成子

1点句

嬰兒の血流を聞くさらさらと 団扇
深夜便流れ大人のライブする 冬馬
仲間内だけの話しが流される 品子
栄転の流れへ靴の紐を締め 品子
流れ藻の魚の僕をよろしくね 品子
お祭りに流れそーめんどつと寄る くんじ
流れから外れ一人になる孤独 竜雄
人波に流されて行く遊歩道 竜雄
子を育て上げて年月振り返り きみ
農相の椅子温まる暇がない 帆波
ちぎれ雲独り遊びがうまくなる 利江